令和６年度　北区立岩淵小学校　学校経営グランドデザイン　令和６年４月20日

社会の要請

確かな学力　豊かな人間性
心身の健康
自ら学び考え行動する力
→　地域社会の一員
　としての自覚

【基本理念】

○すべての教育活動は子供の成長のためにある。
○すべての教育活動は、自立した人間になるための資質を育てるためにある。
○すべての教育活動にねらいがある。

児童の実態

・下学年を思いやる力がある
・あいさつが定着してきている
・読解力、表現力に個人差が大
・自分の考えを伝えようとする意識に高まりがある

目指す学校像

あいさつと笑顔のあふれる学校

○子供が自分の居場所を実感できる
○保護者が子供を通わせるのに安心
○地域が誇らしく支援したくなる

目指す子供像（教育目標）

未来を生き抜く資質・能力を育む子

○よく考える子【知】
◎思いやりのある子【徳】**重点目標**
○たくましく生きる子【体】

目指す教師像

プロの教育者として成長する教師

○学ぶ楽しさを味わわせる教師
○豊かな人間性を持ち協働する教師
○誠実な対応で信頼される教師

岩淵小の合言葉（未来を生き抜くための資質）

「い」…いいあいさつ　いい返事（規範意識）　「わ」…わたしもあなたも大切（人権感覚）
「ふ」…ふれあい　伝え合い　仲よく（協力・協働）　「ち」…力いっぱいチャレンジ（自主・自立）

自己肯定感を育む

「あいさつ（存在を認めあう）」「あんぜん（こころもからだも）」「ありがとう（感謝の気持ち）」

１確かな学力の育成【知】

◎学習規律の徹底
○基本的学習内容の定着
◎読み取り、考え、伝え合う力の育成を目指した授業改善
○日本語教室設置校のよさを生かした教育活動
○特別支援教室との連携
○語彙を増やし豊かな表現力を育てる言語活動
○GIGA スクール構想の実践

２命と人権を守る心の教育【徳】

◎思いやり、ゆずり合い、助け合いのできる人間関係作り
◎日本語教室設置校の特徴を生かし、個性を認め、学び合える心の醸成
◎道徳授業地区公開講座　心の教育
○あいさつ・言葉遣いの指導の工夫
○人権感覚の醸成
○特別の教科　道徳の授業改善
○スクールカウンセラーとの連携

３体力向上・食育推進【体】

◎全校での体力強化チャレンジ
　・なわとびタイム
　・持久走記録会　など
◎よい姿勢の習慣化
○教科と関連付けた食育の推進

４環境教育・日本伝統文化の教育

◎荒川フィールド学習（全学年）
荒川知水資料館・「水辺の会」と連携した、北区「こどもの水辺」での体験を通して、環境や防災について考え、学ぶカリキュラム
◎日本の伝統文化の理解推進
日本の伝統文化への興味関心を高める出前授業の実施

５安全安心な教育環境の整備

◎規範意識の形成
○命を守るための避難訓練の充実
○登校班活動の実施、指導の充実
○「地域安全マップ」の作成
○PTA と連携した安全な環境作り

６開かれた学校づくり

◎読み聞かせボランティア
◎緑のボランティア
◎教育活動についての積極的な広報
○スクールバンドクラブの活動
○近隣中学校との連携推進

７働き方改革に向けた取り組み

○最終退勤目標時刻の設定　○休暇の取得を推進　○教員の学級事務負担の軽減
○夕方から翌朝までの電話自動音声対応　○ノー残業デーの設定